



# みずいぼ

みずいぼは、おもに乳幼児にできるウイルス感染症です。数ヵ月～数年で自然治癒しますので、心配いりません。しかしその間に、増えたり、化膿したり、大きくなることもあります。また他の子どもに感染させることもあります。みずいぼの状態や子どもの抵抗力によって対応が異なりますので、皮膚科専門医にご相談下さい。

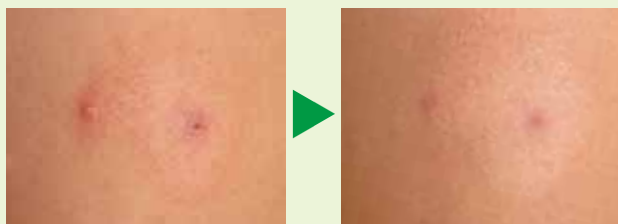
## ? みずいぼとは

正式には伝染性軟属腫(でんせんせいなんそくしゅ)といいます。ポックスウイルス科伝染性軟属腫ウイルスが皮膚に感染して生じます。粟粒～米粒大の光沢のあるみずみずしい丘疹になりますので“みずいぼ”と呼ばれています。



## 症状の経過

数ヵ月～数年で自然治癒します。治癒する際には、イボのところリンパ球が集まり(免疫反応)、イボを攻撃します。そのときにイボが赤くなり、まわりがカサカサしてかゆみが出てきます。これは治る兆候です。



2個のみずいぼの周りに炎症が起こり、右では消失しています

## 治療の必要なみずいぼ



化膿している



こじれて大きくなっている



とびひの合併



## いろいろな治療

治療法	長所	短所
ピンセットで摘みとる	すぐに治る	痛みと恐怖心
局所麻酔テープ貼付後、ピンセットで摘みとる	すぐに治る。痛みが少ない	局所麻酔アレルギー誘発のおそれあり
凍結療法	出血しない	痛い。治るまでに時間がかかる
硝酸銀ペースト塗付	痛みが少ない	あとで傷を残すことがある。治るまでに時間がかかる
スピール膏貼付	痛くない	処置に手間がかかる
ヨクイニン(ハトムギエキス)内服	簡便	効果が不確実
自然治癒を待つ	子どもの負担がない	時間がかかる。細菌感染することがある

## プール

皮膚の接触により感染することがありますが、学校保健法では「**プールを禁止する必要はない**」とされています。タオルやビート板の共用は避けて、プールから上がったらシャワーでよく体を洗いましょう。

- 文部科学省 学校保健法  
原則として、プールを禁止する必要はない。しかし、二次感染のある場合は禁止とする。  
多数の発疹のある者はプールでビート板や浮き輪の共用を避ける。幼稚園もこれに準ずるとしている。
- 厚生労働省保育課2009年8月発表(保育園における感染症対策ガイドライン)  
プールや浴槽内の水を介して感染はしないが、ビート板や浮き輪、タオル等の共用は避ける。  
プールの後はシャワーでよく流す。

## みずいぼ治療のジレンマ

自然治癒を待つか、あるいは摘除を行うか、議論が残ります。摘除は最も確実で簡便な方法ですが、痛みを伴いますので、子どもにはストレスとなります。一人ひとりに適した対応が必要です。

いい ひふ  
**11月12日は皮膚の日です**